

地域医療連携推進法人北河内メディカルネットワーク (KMN)
地域医療連携推進評議会 議事概要

1. 開催日時 : 2024年5月30日(木)～6月4日(火)
2. 開催場所 : 全構成員の同意を得て書面決議を実施
3. 構成員総数 : 5名
4. 議案:
 - 第1号議案 昨年度評議会の意見に関する対応について
 - 第2号議案 2023年度の主な事業活動と事業報告について
 - 第3号議案 2023年度決算について
 - 第4号議案 2024年度事業計画・予算について
 - その他 評議会の構成員について

5. 議事の経過及びその結果:

評議会開催にあたり、予め全構成員の同意を得た上で各議案に該当する資料と内容を全構成員に周知し、回答用紙に意見を求める方法を取った。

第1号議案 昨年度評議会の意見に関する対応について

2023年度の地域医療連携推進評議会にて指摘があった「累計の繰越金が年会費を上回っている」件について、2019年度から2023年度までの繰越金の推移をまとめた資料に基づき、以下の報告が行われた。

2023年度は将来展望を策定するなど多くの医療連携推進業務に取り組んだことで2023年度単年度の繰越金が22,217円となり、2022年度単年度の繰越金と比較して208,523円の削減が行われた。

第2号議案 2023年度の主な事業活動と事業報告について

標記議案について2023年度の事業報告書に基づき、以下の報告が行われた。

- ・2023年9月1日付で社会医療法人美杉会がKMNに入社した。
- ・KMNが行う医療連携推進業務を5分野に振り分け、将来展望として策定した。
- ・医療安全共同研修、感染対策共同研修、能力開発研修の3つの研修会を実施した。

また、2024年度の活動であるが2024年6月から一般汎用品の共同購買を開始する旨、報告が行われた。

第3号議案 2023年度決算について

標記議案について2023年度のKMNの計算書類各種(独立監査人の監査報告書、貸借対照表、損益計算書、重要な会計法人等の記載及び貸借対照表等に関する注記、財産目録、純資産変動計算書、有形固定資産等明細表、引当金明細書、純資産増減計算内訳表)に基づき、以下の報告が行われた。

- ・計算書類各種は公認会計士の監査を受けており会計内容に問題ない旨、評価されている。

- ・2023年度の経常収益計は1,320,169円、経常費用計は1,247,952円であり、経常利益は72,217円、未払法人税分を処理した当期純利益は22,217円であった。

第4号議案 2024年度事業計画・予算について

標記議案について2024年度事業計画書と予算書に基づき、以下の報告が行われた。

- ・関西医科大学で実施している特定看護師養成事業に協力し、特定看護師の養成について検討を開始する。
- ・2024年6月から一般汎用品の共同購買を開始し、第2ステップとして2024年度下期を目途に衛生材料や汎用性の高い医療品の共同購買交渉について検討、開始を目標とする。
- ・大規模災害を想定した共同研修の実施や、病院BCPの策定について検討を開始する。

その他

- ・評議会の構成員について

標記議案について構成員の名簿に基づき、任期が本会議までとなっている構成員についてKMN社員総会の総意として引き続き構成員を依頼したい旨、報告があった。

構成員から以下の意見が寄せられた。

- ・令和5年11月21日に「ひらかた地域医療連携ネットワーク協議会」の理事会・総会において、医療機関の参加数の減少、開示医療機関同士の連携実績が少ないことから、事業継続が出来ないと判断されたため、令和5年12月28日をもって天の川ネットを運用停止し、令和6年1月31日をもって協議会を解散する決定がなされたと聞いている。上記内容を事業報告書に記載する必要があるのではないかと。
- ・KMNの推進メリットを北河内地区の患者に向けて広報することで、医療安全・感染対策の均一性をアピールしてはどうか。
- ・KMNのホームページから関西医科大学附属病院のCT、MRI、PETCT等の放射線検査の予約ができるメリットを各病院でRPしてはどうか。
- ・医薬品・医療機器の共同価格交渉によって割安になった部分の一部をKMNの運営費に充ててはどうか。

以上